



さつきが丘小だより

学校教育目標 賢く 直く 逞しく

学校ホームページURL <https://kanuma-school.ed.jp/e-satuki>

鹿沼市立さつきが丘小学校

〒322-0026

鹿沼茂呂1086-5

電話 65-0919

発行者 学校長



夏休みの過ごし方

7月21日～8月28日まで39日間の休みになります。終業式では、「あいさつ」の4文字を使い、過ごし方について話をしました。

- ☒ あさは決まった時間に起きて、朝ごはんを食べる。朝寝坊はしない。
- ☒ いつも元気に過ごせるよう、健康に気をつける。
- ☒ さいごの日まで安全、安心な生活を心がける。交通事故や熱中症に気をつける。
- ☒ つづけることを大切にする。勉強や読書は毎日続ける。ゲーム・スマホだけにならない。

《新型コロナウイルス感染症について「お子さんが検査または陽性となられた場合」の連絡》

▽平日は学校の電話にご連絡ください。土曜、日曜、祝日の場合には、週明けにご連絡ください。

▽学校閉庁日の8月15日・16日は、学校の緊急携帯番号にご連絡ください。

※感染レベルにより変更となる場合には、メールにてお知らせします。



人権の花贈呈式・花の準備

6月23日に市の人権擁護委員さんより、「人権の花」の贈呈を受けました。たくさんの種類の花苗、プランター、培養土の目録をいただき、人権擁護委員さんより人権についての講話をいただきました。式には、学校を代表して、飼育園芸委員の代表が参加しました。

人権の花は、花を育てることを通して、子ども達に協力、感謝することの大切さや生命の尊さを実感する中で、優しさと思いやりの心を体得させることを目的として実施されているそうです。

7月4日の委員会活動で花苗をプランターに植え替える活動を行いました。



学校支援ボランティア活動（学習支援）

6月17日から、数日にわたり、5年生の各クラスで家庭科の時間に「手縫い」の学習を行いました。毎回、ボランティアの方から、針の持ち方や運針などについて、懇切丁寧な指導をいただきました。お陰様で楽しく充実した活動ができました。優しくアドバイスをしていただきながら仕上げた練習用の布をうれしそうにボランティアさんに見せている児童の姿がとても印象的でした。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



プール学習 5月23日～7月15日

今年度も民間のプールをお借りしての学習が7月15日で終了しました。この期間で、どの学級も3回の学習ができました。

とても生き生きとした姿で学習に取り組むことができました。



健康診断結果について

内科、眼科、歯科の健康診断がすべて終了しました。異常又はその疑いがあった場合には通知をお渡ししていますので、早めの受診をお願いします。保健だより7月号の「おうちの方へのお願い」をご覧ください。



8月

- 28日(日) PTA奉仕作業②
- 29日(月) 2学期始業式
- 30日(火) 漢字一斉テスト
- 発育測定開始(～9/6)
- 特別日課 ～9月22日

9月

- 7日(水) PTA本部役員会 運営委員会
- 8日(木) 5年生小児生活習慣病検診
- 12日(月) 家庭学習強調週間～16日
- 13日(火) 社会科見学(4年生)
- 14日(水) 社会科見学(3年生)
- 15日(木) 租税教室(6年生)
- 28日(水) 音楽集会②

※中学生マチャリジ受入 東中 13日～15日
北中 20日～22日

□おもな予定になります。変更になることもあります。

7月5日 「ネット時代の歩き方講習会」 講話と資料から

6年生がインターネット社会についての学習を講話形式で行いました。講師の先生を招いて体育館で行いました。配られた資料から、講話の内容を簡単に紹介します。

1 インターネットは生活そのもの

インターネットは画面の中にもう一つの世界が広がっているように、話ができたり、ゲームで遊んだり、調べ物や買い物もできる。生活に必要な道具となっている。

調べ物、おしゃべり、用事を伝える、動画を見る、教え合う等がいつでも、だれとでも、どこにいてもスマホがあれば簡単につながる時代になっている。だから全ての人がインターネットに夢中になる。

2 スマホに潜む4つのリスク**①やめられない**

楽しいことを自分から止めることができないと、スマホにどんどん時間が取られていき、大事なことができなくなるばかりか、いつでも遊ぶことが当たり前の生活になってしまう。

②仲良くできない

気持ちは言葉だけでなく、表情や声で伝わるものです。文字だけで会話をしやすいスマホでは、相手の気持ちがわかりにくいので、ちょっとした言葉で嫌な気分になることもよくある。

③キケンな世界に入る

世の中には、知り合ってはいけない人や、知ってはいけないことがたくさんあります。また、直接言えないことでも、スマホなら伝えやすい気分になり、悪口を伝えたいこともあります。

④できるようにならない

スマホはあまりにも便利な道具なので、自分で考えたり、工夫したり、覚えたりする必要を感じなくなることが増えます。だから、ますますスマホがないと困る生活になってしまいます。

3 4つのリスクと向き合うヒント □内はお家の方へのメッセージです**①楽しみ方を増やそう…楽しいことはゲームだけじゃない、自分で楽しみを作れる人になると何でも楽しめる**

- ゲームを始める時は終わりにする方法を具体的に決めておく。
- ゲーム以外に楽しめることを探して、いろいろな時間の使い方を身につける
- 集中して何かをする時間とゲームや動画を見て過ごす時間を分けて、集中する時は手元にスマホを置かないようにする。

インターネットは自己管理ができる大人が使うことを前提に作られているため、お子さんの自制力に頼ることに限りがあります。利用制限や一時的に端末を預かるなど、娯楽の誘惑から子どもの生活を守ることは保護者の役割です

②立ち止まってみよう…キケンなものほど近づいてみたくなるものです。時には立ち止まる勇気も必要です

- オンラインゲームで知り合う人とは、ゲーム以外の話はやめる。
- どんなに気が合いそうな人でも、実際に会うまではどんな人かはわからない。
- インターネットでやっていることは、家の人にも話をする。

インターネットは大都市のように様々な人やサービスがあります。お子さんが外出するときに何をしているのか感心を持つように、インターネットの世界でどんな人や情報を触れているのか感心を持ちましょう。

③思い込みに注意！…気持ちを伝える言葉、誤解されそうな言葉は文字だけでは正しく伝わりません

- 返事に困った時は、時間をおいて冷静になろう。
- イライラしたり落ち込んでいる時など、気分がすぐれない時は悪いことを考えやすいので特に注意が必要です。
- メッセージを送る前に一度読み返そう。
- 不安になったら電話やあって話すなどして、相手が言いたかったことを確認しよう。

相手の気持ちを考えるためには、気持ちを伝え合える体験が大切です。LINEは人間関係を良く知っている大人にとっては使いやすいものですが、その基礎を勉強中の子ども達にとっては情報が少ないために扱い難しいこともあります。

④まずは自分でやってみよう

…スマホは楽をするための道具ではありません。できないことをできるようにするための道具です

- 検索する前に、一度自分で答えを予想してみよう。
- スマホを使わずに過ごすなど、どのような時にスマホに頼っているのか確かめてみよう。
- いろいろな方法で問題を解決できるように、工夫することを覚えよう。

全ての道具は自分の方だけでは難しいことを実現するために使われます。スマホは脳の代わりになる道具です。脳は使えば使うほどよく働きますが、必要性が無くなると働きにくくなる性質があります。意図的に考えたり、工夫する機会をつくりましょう。

【講話より】ネット社会に潜むリスクを正しく理解して、自分で考え判断し使い、自分のためになる道具として、相手を大切にできる便利な道具として、スマホを使えるようになっていくことが求められています。